



滝野南小学校便り

令和元年6月5日

体験から学ぶ

1学期も折り返しの6月を迎えました。それぞれの学級においては、引き続いて、担任と子ども一人ひとりとの信頼関係の構築に努めることはもちろんのこと、子ども同士の関わり合いを大事にして取組を進めていきたいと考えています。

5月31日、6月1日の2日間、修学旅行に行ってきました。1日目に、少し雨が降りましたが、見学等への影響は全くなく、無事に終わることができました。見学地では、実際に目で見て、聞いて、感じて、歴史を学びました。話をしっかり聞いて、しっかりメモして、よく学習できました。メリハリのある行動ができたことが素晴らしく、その姿をとでも嬉しく思いました。互いに協力し合いながら、楽しむことのできた修学旅行になりました。



いろいろな学年で、様々な校外での体験を通じた学習により、教室の説明では十分に理解できないこと、分からないことを、実際に見たり聞いたりすることで、学習をより確かなものにするすることができます。

ただし、いろいろな見学や体験を通して、見たり知ったりしても、単に「楽しかった」、「疲れた」という感想だけでは、学習が深まったとは言えません。

さらに、学習に必要なことは、「考える」と「伝える」ことです。学校では、体験をより深まりのあるものにするため、「見たこと」や「知ったこと」をまとめたり、伝えたりする活動をしています。感想を書くことや新聞にまとめることは大切な学習です。

それから、引率の教師から、学習を終えて解散するとき、「帰ったら、お家の人にたくさんお話をしてください。」と子どもたちに話すことがよくあります。その際に、どれくらい詳しく、分かりやすく伝えられるかが大切です。これは、よく言われるプレゼンテーション力を身につけることであり、思考力や表現力を高めることにもつながります。もしも、お子さんが簡単な感想しか言わなかった場合は、いろいろと質問をしてあげてください。きっとたくさんのお話を学んでいるはずですよ。

■学校オープン（6月15日土曜日）ご来校をお待ちしています！

午前中は、ふるさと体験学習です。30年以上続けられている南小ならではの行事です。多くの地域の方々に指導者としてお世話になります。ただ、指導者の人数が少なくなってきていますので、保護者の方々のサポートがあればありがたいです。昨年度もお願いいたしましたが、今年度もよろしくお願ひいたします。そのような子どもたちとの関わりを通して、保護者の方々も、子どもたちと一緒にふるさと体験を楽しんでください。

午後は、授業公開の後、心肺蘇生法講習会を行います。

多くの皆様のご来校を、心よりお待ちしております。

■掲示委員会の発表



「学校行事クイズ」を作り、全校生に問題を出しました。

■園芸委員会の発表



クイズを出して、花の植え方や世話の仕方を発表しました。

■マット教室



前転、後転、側転、倒立、ハndsプリングなど、いろいろな技に挑戦しました。

■体力テスト



全学年が参加して、体力テストを行いました。元気に頑張りました！

■お願い（お知らせ）

子どものためによりよい教育を実現するためには、教職員が、心身ともに健康で充実した毎を送ることが必要です。

そこで、兵庫県教育委員会及び加東市教育委員会では、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向け、市内すべての学校で、週1回以上の「教職員定時退勤日」の取組を進めています。本校では、毎週木曜日を「教職員定時退勤日」と決めて、午後6時には全教職員が退勤することとしています。

また、今年度も、加東市立の全小中学校で、お盆の期間の平日（8/13～15）を「学校閉校日」とします。（緊急時は加東市教育委員会が窓口となり対応します。）

今年度も教職員が精神的なゆとりを持って、一人一人の子どもに向き合うことができる環境づくりを進め、本校教育活動の一層の充実を図ってまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。